

令和7年度第2回鎌ヶ谷市学校給食センター運営委員会会議録

- 1 開催日時 令和8年2月5日(木) 14時30分から15時40分
- 2 開催場所 鎌ヶ谷市学校給食センター2階 多目的会議室
- 3 出席者

(1) 委員:

山田圭子委員長、石原徳子委員、砂見正子委員、小川輝雅委員、渡辺莉紗委員、望月晴菜委員、重光勇男委員、伊藤美奈子委員、茂木優菜委員、高橋晶子委員

(欠席委員: 飯田卓副委員長、中山道子委員)

(2) 事務局:

大塚生涯学習部長、佐藤給食管理室長、石田給食管理室主査

(3) 傍聴人: 1名

4 議題

(1) 令和7年度学校給食センターの運営について

(2) 令和7年度学校給食センター第1・2・3四半期PFI事業モニタリングについて

ア 令和7年度4月～6月第1四半期モニタリングについて

イ 令和7年度7月～9月第2四半期モニタリングについて

ウ 令和7年度10月～12月第3四半期モニタリングについて

(3) 令和8年度学校給食費について

5 審議内容

資料に基づき事務局から説明の後、

(高橋委員)

スープ調理時に虫が大量に発見されたため、提供を中止し、後日代替品としてゼリーを提供したとのことだが、ゼリーの提供を決定した経緯を伺いたい。

(事務局)

入札による材料調達を行っている性質上、急な献立変更は困難であるため、在庫がありすぐに調達が可能であるゼリーを提供した。

(高橋委員)

スープとゼリーでは栄養価に乖離がある。必要な栄養を確保できるものを提供してほしい。

(事務局)

対応には困難な面もあるが、意見として承る。

(小川委員)

職場環境の現状はどうか。

(事務局)

扶養に係る所得制限の上限は引き上げられたものの、社会保険料の「130万円の壁」の影響により、所得を扶養範囲内に抑えるための勤務調整を行う職員がおり、人手不足が生じる時期がある。しかしながら、異物混入はあってはならないことであるため、対策に努めたい。

(重光委員)

給食センター内において、調理現場でも悩ましい問題と認識しているようだ。

(高橋委員)

米飯の提供状況はどうか。

(事務局)

令和7年9月及び12月に、物価上昇に伴う米飯に係る補正予算を措置しており、提供量を維持している。

(石原委員)

食器の洗浄状況や摩耗具合を確認しているが、計画的に入れ替えることをお願いしたい。また、異物混入については最優先の留意事項であるが、引き続きチェックシート等を通じて課題を共有し、運営にあたられたい。

(山田委員長)

賄材料費の補正により、給食の提供量が増加した事実はあるか。

(事務局)

令和7年9月及び12月の補正は、物価上昇分を補填するものである。

(望月委員)

給食週間に係る展示物等について、学校に掲示可能な資料があれば提供を検討されたい。また、親世代の利用率が高いフェイスブックではなく、児童生徒の利用率が高いインスタグラムやユーチューブの活用についてはどうか。

(事務局)

展示資料はイベント用に作成したものであり、配布用はない。SNS活用については、インスタグラムは市公式アカウントがないため困難であり、ユーチューブについても現在のセンターの体制では対応が難しい状況にある。

(高橋委員)

学校のモニターを活用した配信は可能か。

(事務局)

学校側との調整を要すること、また市と学校のネットワークが独立していることから、容易ではないと考える。

(望月委員)

第五中学校では、スペースや時間の制約によりモニター配信は難しいため、掲示物による情報提供を希望する。

(山田委員)

初富小学校では、物価上昇分について保護者に負担を求めることもやむを得ないとの意見が出ている。

(伊藤委員)

現在の価格で、現在の味及び栄養水準を維持して提供していることはすばらしいと考える。

(高橋委員)

給食時間が不足しているが、調整は可能か。

(事務局)

大幅な変更は困難であるが、学校行事の際などは一定の範囲内で対応している。

(山田委員長)

給食時間の確保については、学校側においても工夫が必要である。

上記審議の後議題(1)～(3)について承認された。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

令和8年2月13日

署名人 望月 晴来

署名人 重光 啓昌